たっ
たっ
たっ
♪
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム『英雄伝説 閃の軌跡』
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第25話
201
ん…
そうか…今日は実習だったな
もぞ
夜中に稽古をしたからまだ眠いけど…
バン!!
え……
ミ…ミリア…

朝だよ アサーっ！
ほらほら リィン！ 早く起きなきゃ ダメだよ！
!?
ぐえ
列車が 行っちゃうよ～!?
こ こら！ 女の子が はしたな ―
うぐっ
お菓子とか 何ミラまで OKなのかなー？
そうだ！ バナナがおやつに 入るの!?
入らない！ 入らないから…！

フフ 朝から 散々な目に 遭ったようだな
ああ… おかげで バッチリ目が 覚めたけど
実習が よっぽど楽しみで 仕方なかったようだ
で その後 ミリアムはどこへ 行ったのだ？
そういえば ユーシスさんが 遅いですね…
おっまたせー！
ヨロ
ユ ユーシス…！
THE 捕獲
誰かこのガキを 何とかしてくれ
……
それじゃあ A班 レッツゴー！
A班
リィン・ラウラ・エマ
ユーシス・ガイウス・ミリアム
（実習地：レグラム）
トリスタ駅
あら 貴方たち
おはよ！

B班はジュライ特区だったか
帝国最南端にある自由都市だな
帝国政府の直轄地だったはずだ
あーあそこかぁ
8年前くらいにオジサンが併合した場所だねー
ミ ミリアムちゃん…
まったく…もう少し歯に衣を着せることを覚えろ
B班
アリサ・エリオット
マキアス・フィー・クロウ
それにしても2日後に合流する実習なんて初めてね
サッ
3日前 実技テスト後——
そうだなナイトハルト教官も一緒とは…
合流地点は帝国東部——《ガレリア要塞》だ
《ガレリア要塞》では自分も実習教官として合流する
——諸君には各々の場所での実習の後そのまま列車で合流してもらう
共和国側に備える帝国正規軍の一大拠点か…
そこで行われる特別なスケジュールって何なんでしょうね
そうだな…気を引き締めてかかったほうが良さそうだ
まもなく2番ホームに帝都行きの旅客列車が到着します
エリオットマキアスそれじゃあな
まあ慣れるまで無理に呼ばなくてもいいぜ
クロウ先輩…じゃなくてクロウも
りょ 了解
それじゃあまた2日後にね
お ちょうど行くところみたいだな
あれれレクターー!

明後日からオレもクロスベル入りすっからなァ
今生の別れになるかもしれないしこうして挨拶に来てやったのだ
そーなんだー
何者だ…?
?
レクター・アランドール大尉…!
帝国軍情報局の…
おおノルド以来だな
こいつ怪しさてんこ盛りだろうが精々普通に付き合ってやってくれ
迷惑をかけたら遠慮なくお尻ペンペンとかしていいぜ
は はあ…
むー ボクイイ子だもん!
まもなく1番ホームにケルディック経由バリアハート行き旅客列車が…
大尉殿すみません俺たちはこれで…
おお頑張れよ
それとオレのことは一応〝書記官〟って呼んでくれや
帝国政府に所属する二等書記官でもあるんでな
そ そうでしたか
それでは書記官殿失礼する
ははは聞いていた以上に面白いクラスみたいだな
…まオレの時みたいに楽しんでくれたら何よりだぜ
カッ
カッ
つと 怖いお姉さんに見つかっちまったぜぇ
――《鉄血の子供たち》(アイアンブリード)ずいぶんと仲のよろしい事で
現時点で判明している《帝国解放戦線》のメンバーだ
幹部連中も一部判明している
…なるほど一応礼は言っておくわ
それと――クレアからの伝言だ
『彼らの狙いの本命は《クロスベル市》にあり…』
『それと連動して深刻な事態が帝国内で起こる可能性があります』
――だとさ
ゴォォォ

湖畔の街　レグラム
うわぁ～っ……!
噂に違わぬ光景だな……
これが霧と伝説の町……
フフ 気に入ってくれたようで何よりだ
生憎 霧が出ているので見晴らしはよくないが……
晴れていると湖面が鏡のように輝いて見えることもある
――お嬢様
お帰りなさいませ
トールズ士官学院VII組の皆様 ようこそ《レグラム》へ
爺! 出迎えご苦労

アルゼイド家の家令を務める執事のクラウスだ
父の留守役として《アルゼイド流》の師範代として世話になっている
師範代……
あ ラウラのおとーさんが教えてるっていう?
ああ 帝国伝統の騎士武術を伝える流派……
《ヴァンダール流》と並んで帝国における武の双璧だ
レグラムの領主にして《アルゼイド流》の宗家……
《光の剣匠》だっけ ものすごく強いんでしょ?
ああ 娘の私が言うのもなんだが軽く人の域を超えている
少なくとも帝国においては3本の指に入るのは確実だろう
しかし 伝統的な雰囲気を残している街並みだな……
こちらの石碑も精霊信仰の影響が強く残っていますね……
なにあれー?

あれは…《槍の聖女》の像か
うむ それと《鉄騎隊》の面々だな 確か100年ほど前のものだったか
ちなみに左下に控えているのが子爵家の祖先にあたりますな
へー ラウラのご先祖様かー
《槍の聖女》リアンヌもこの地の出身ではあったが……
人間離れした美貌と強さから〝妖精の取り替え子〟と囁かれていたこともあるらしい
実際 獅子戦役の終結後 彼女が謎の死を遂げたせいでサンドロット伯爵家は断絶した
そんな逸話があったとしても不思議ではないかもしれん
ほう…面白いな
妖精の取り替え子か…
そして霧に霞んでいるが…

あれが《槍の聖女》が本拠地にしていたという古城《ローエングリン城》だ
わぁ…!幻想的ですね…
湖のほとりにそびえたつ《聖女の城》か…
ラウラお嬢様!?
おおラウラお嬢さん!お帰りでしたか!
わぁっ
ラウラ様お元気そうで…
ふふ……慕われてるみたいですね
……
さてそろそろ実習に取り掛からなくてはな
我が家に荷物を置いたらさっそく始めよう
クラウスさんが実習課題をお持ちなのですか?
それなのですが…
今回の課題については〝プロフェッショナル〟の方にまとめていただく事になりまして…
?

レグラム　北の街道
その人には街道に出れば会えると言われたが…
どなたなんでしょうね…
ま…
魔獣…!?
!?
な なんだ…?
ザザッ
た…
倒した…のか?
〝壊した〟と言った方が正しい気がするな

お前なら何か知ってるんじゃないのか?
いやー助かったよ
ガーちゃんとは関係ないと思うよ?
その子は金属でできてるみたいだし
そいつにはちょいと手こずっていたんでね
ガサ ガサ
トヴァル殿!
あ!貴方は…!
お久しぶりだラウラお嬢さん
サラの所で励んでいるみたいだな?
バリアハートで…!
帝国遊撃士協会所属トヴァル・ランドナーだ
よろしく頼むぜ《Ⅶ組》の諸君

遊撃士協会　レグラム支部
ふむ そのような縁が あの時のA班に あったとは
まさかサラ教官に 頼まれてフォローして くださっていた なんて…
あの時は お世話に なりました
いやいや
サラとは 元同僚でな
あくまで『さり気なく』って 注文だったから 大変だったぜ
さりげなく
さりげなく…
バリアハート にて
ふむ…先ほどの 手配魔獣も 我らで倒すよう そなたが仕向けた のであろう？
あちゃー バレてた か…
しかし 機械仕掛けの魔獣か なぜあんなものが レグラムの街道に…？
ああ… そいつは 後で俺の方でも 調べておこう
それにしても レグラムは 支部が残って いたんだな
そうだな 帝都の支部は 圧力を受けて 休止状態になって いたが…

帝国政府の 圧力以来 ここ2年で 各地の支部が 軒並み休業してね
でもここは 子爵閣下の お墨付きもあるから 大手を振って看板を 上げられてるな
どうも父上の 気風に通じる所が あるらしくてな
叶うならギルドに 所属して働きたいと 前々から仰っていた くらいだ
そ それは…
無理が あるような…
んー 《光の剣匠》が 遊撃士協会 入りかぁ…
格にしても実力にしても カシウス・ブライト並み だろうし いきなりS級に 迎えられそうだねー
カシウス・ブライト…
ふむ 確か リベール王国の 准将にして 《剣聖》だったか
ま そんな縁で 子爵閣下に頼まれて お前さんたちの実習課題を まとめる事になったんだ
さあ 受け取ってくれ

夜 アルゼイド子爵邸 饗応の間
おいしー!!
ほら ミリアムちゃん ソースが垂れていますよ
レグラムの地の物… どれも滋味深い味わいだな
ああ 特にこの脂身の乗った肉など絶品だ
それは猪肉だな この辺りでは昔から郷土料理に使われている
……

どうした? アルバレアのご子息殿
食が進んでおらぬようだが
レグラム領主
ヴィクター・S・アルゼイド
いえ…その 実家がこちらにも迷惑をかけているのではと…
こんな時期にクロイツェン州が大幅増税だなんて…
!
フ 税を巡っての揉め事など毎年のように起きるもの
そなたが気に病むことはない
…感謝します
それより どうやら昼間クラウスと仕合ったそうだな?
それも勝利を収めたとか
はい… 手を抜かれた気もしますが
とんでもない ご学友共々若々しき獅子のごとき気合いでした
そうか… 良き友に巡り合えたようだな

ふむ…
リィンといったか
どうやらそなたの剣には〃畏れ〃があるようだな
!
父上…？
《剣仙》ユン・カーファイ殿
そなたの師にして《八葉一刀流》を聞いたあの御老人とは面識があってな
何度か手合わせを願ったこともあるくらいだ
決着はいつも付かなかったがな
ハハ…
そ…そうだったんですか…
恐れ入りました…
フフ それはともかく
《八葉一刀流》――東方剣術の集大成というべき流派だろう
その理合いの深さと玄妙さ……修めた者が《剣聖》と呼ばれるようになるのも頷ける
だがそなたは――
〃何か〃を畏れるあまり足踏みしているようにも見える
それは……
薄々感じてはいたが…
リィンが抱えている〃何か〃か……

…参りました
そこまで見抜かれるとは夢にも思っていませんでした
ですが――
これで覚悟も固まりました
え…？
子爵閣下――いえ《光の剣匠》殿
ほう…？
どうか自分と手合わせしていただけないでしょうか？

アルゼイド流　練武場
リィン
考え直すがよい……！
父上も戯れはおやめください！
……無謀すぎる
〝指南〟ならともかく達人相手の〝手合わせ〟など…
さすがに厳しいか…
…ラウラ
止めないでくれ
私と彼の勝負だ
そなたは下がるがよい

《アルゼイド流》筆頭伝承者
ヴィクター・S・アルゼイド　参る
あ…あれを片手で…!?
鉄騎隊の祖先も使っていた宝剣《ガランシャール》だ…!
この感じ…もしかしたら師匠以上か…
でもこの人なら……!
《八葉一刀流》初伝
リィン・シュバルツァー　参ります
──始め!
ざっ
はぁっ!!
──っ!
──フッ
リィン!!

ヨロ…
ハァ
ハー
ハー
うっわー……
だから言ったのだ…
み 見えませんでした……
一撃…
…リィンが弱いわけじゃない
相手があまりに強すぎるのか…
スッ
――何をしている
未だ勝負はついていない 疾く立ち上がるがよい
父上…!?

そなたの力―― それが限度でないのはわかっている
この期に及んで〝畏れる〟ならば強引に引きずり出すまでのこと…
スッ
さあ 見せてみるがいい――
リィンさん!!
……!
消えた…!?
いや…!

──甘い

え…?
わわっ…!?
これは…
リィン…
こ これが…!
なのか…
リィンが恐れていた…!?

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵那まお
漫画：さがら梨々
第26話
キキキッ
ダッ
そうだ
それでいい
〃その力〃はそなたの奥底に眠るもの…
それを認めぬ限り
そなたは足踏みをするだけだ
リィンの秘められた力が今、現れる——!!

ガンッ
カン
うわー、ララウラのおとーさん押されてるんじゃない？
……
いや……
カン

スッ
……ここまでか

絶技《洸凰剣》!!!
ぐ…
あ……っ

リィン!
リィン!
しっかりしてくださいリィンさん!
か…髪の色が…
ああ…戻っていくようだが…

ぱち…
う…
み
皆…?
わら
リィン!
大丈夫か?
わら
あ…
……そ
その
今の
は…
……阿呆が
お前は…
こんなものを
抱えていたのか
え…
ああ…
だがやっと
わかった気が
するな
リィンが
子爵閣下に
手合わせを
願った理由が
ほんと
すっごい勝負
だったよねー!
リィンさん
痛いところが
あったら
私 お薬持って
きますからね
……
皆…
父上…!
やりすぎ
です!
ポン、
大丈夫だよ
ラウラ…
ちゃんと手加減
してくれたから
!……

…参りました
コッ
《光の剣匠》の絶技しかと確かめさせていただきました
フフ…
どうやらわかったようだな
スッ
——力は所詮 力
使いこなせなければ意味はなく ただ空しいだけのもの
だが——
在るものを否定するのもまた〝欺瞞〟でしかない

はい…天然自然——師の教えがようやく胸に落ちた心地です
ですが…
これで一層迷ってしまうような気もします
リィン…
まずは立ち上がり…
……それでよい
畏れと共に足を踏み出すがよい

迷ってこそ〃人〃――
立ち止まるより遥かにいいだろう
がやがや
わいわい
ふむ…? 何やら騒がしいな
フフ そう言わずに考えておいてくれたまえ
貴公が来てくれれば会合にも箔が付くというものだ
…それではさらばだ
カッ
ああ…!
おお ラウラ嬢か
ほう… ユーシス君まで
ペコ
…ご無沙汰しております
お知り合いみたいですね…?
《四大名門》筆頭にして西のラマール州の統括者……
海都オルディスを治める大貴族《カイエン公爵》…!
フフ 久闊を叙したくもあるが少しばかり急いでいてな
近いうちに会う機会を設けるとしよう
さらばだ

……
なんだ…？ 後ろの二人組は
カイエン公が私的に雇っている護衛だろう
父上…
貴族派が水面下で動き始めている…!?
うむ 先月あたりから貴族派が頻繁に動き始めている
各地で会合が繰り返され結束を再確認しているようだ

情報局もとうとう革新派と本格的にやりあうつもりかってピリピリしてるんだよねー
!っ… そんな事が…
貴族派全体の大規模な会合を近いうちに開くので必ず出席するようにとのことだ
で ですが父上はあくまで貴族派からは距離を取って… 中立ではありませんか
先方にしてみれば貴族ならば貴族派に所属して当たり前という理屈なのだろう
当然 俺の実家もそれに関わって…
やや揉めていると聞くが基本的には同じ方針であろう
……
ユーシスさん…
そ その…
フフ そなたの実家ならば心配は無用だろう
そうだな 《四大名門》の主導権をカイエン公とアルバレア公のどちらで取るか…
シュバルツァー卿といえば私以上の頑固者として有名だからな
貴族同士の胡乱な動きに加担するとはとうてい思えぬ
そ そうですか… 少しばかり安心しました

ふむ…待てよ
そういう事ならまだ打つ手はあるやもしれん
特別実習2日目　朝——
ラウラのお父さん行っちゃったねー
——各地の中立派の貴族と手を取り合うことにする
貴族派全体の強引な動きに取り込まれる事がないようにな
明日発つ！
!?
ふむ 昔から即断即決が信条でな
トヴァルさんも一緒に行ってしまったな…
ええ 何か込み入った事情がおありみたいでしたね
そういえばトヴァルさんが言っていたが
まさかカイエン公をユーシスのお兄さんが迎えに来ていたとはな…

ま…まあ ルーファス殿といえばアルバレア家の嫡子だ
カイエン公が訪問するのであれば出迎えに来てもおかしくあるまい
……そうだな…
ところでリィン身体の方は大丈夫なのか？
ああ
——皆
昨日は騒がせてすまなかった
以前の俺は師匠の教えに気付ける段階にはなかった
だけど…
子爵閣下が手合わせを通じて俺に気付かせてくれたんだ
リィン…

そうか…
そなたも足掻きながら前に進もうとしているのだな
——しかしリィン改めて聞かせてもらおうか
お前の力…あれは何だ？
すごかったよねー別人みたいな動きをしてたし
何かのリミッターが外れたみたいな
ああ…どうやらそうみたいだ
——自分の中に眠っている〝獣〟じみた何か……

何かのタガが外れた時だけ俺を呑み込んで〝変化〟させる
……子供の頃に初めて気づいて心のどこかでずっと恐れていたんだ…
〝獣〟じみた何か…？
うーんカッコよかったけどなー
リミッターを外して強くなるならじゃんじゃん使えばよくない？
ははそれができれば苦労しないさ
あれを抑えるために…オレは師匠から剣を教わった
正しき力の使い方を知ることで自分の中の獣を抑えられるように

だが 根本的な解決にはならず途中で修行も打ち切られた…
…情けない話だろう？
だが 昨日の勝負で何かを掴めたんだな？
あるがままの自分を認めない限り結局 前にも後ろにも進めない…
ああ…
どれだけ否定しても自分自身を偽ることはできない
そんな当たり前のことに今さらながら気付かされただけさ

リィンさん…
そうか…
フッ 世話の焼ける男だ
先月の旧校舎以来心配をかけてたみたいだからな
このことは後でB班にも話すつもりだよ
…うん
……
私も負けていられないな
よし 皆今日の課題に取り掛かるとしよう
オッケー☆
ムニ
いいんちょのおっぱい
おっきいね

明日は
ガレリア要塞か
ああ 明日に備えて今日は早めに休むとしよう
ラウラ様ー!
こ…子供たちが…
ユリアンとカルノが遊びに出たまま…“お城”から帰ってこないんです!!
ゼェ
ゼェ
なに…!?

これが《ローエングリン城》……
子供たちが乗ってきたボートもあったし ここで間違いないだろうな
救国の聖女が本拠地とし歴戦の勇者たちが集まったとされる伝説の古城か…
わわっ
な なんかボ～ッと青白く光ってない!?
私もこんな状況は初めて見るな…
〃何か〃が蠢いているような…そんな気配を感じるが…
な 何かってナニ～!?
やはり幽界の気配…

エマ……？
？
……いえ！
き 気をつけて入りましょう！
ギィ…
バン!!
ビクッ
ひゃっ!?
ぴょん
あ
開かない……!?
閉じ込められたのか……!?
これは――
どうやら《結界》が働いているみたいですね

委員長…どうしてそんなことがわかるんだ…？
あっ えっと
その…実は昔から霊感がある方で…
レ レイカンって…
そ…そなたは一体…？
ゴーン…
ひっ!?
ゴーン
!!
ゴーン…
鐘の音…!?
バッ
左右から来ます!!
ゴキッ

な…なんなんだ
この城の魔獣は
不可解な魔獣…
いや〃魔物〃と
いうべきか
フン
想像以上に
厄介な場所の
ようだ…
《結界》とやらの
せいで閉じ込め
られたことだし
脱出方法も
探さなくてはな
み 皆…
あの扉は…?
え…?
ああっ
これは…
旧校舎にあった
扉と同じ…!?
★電子書籍『英雄伝説 閃の軌跡』①～④
Amazon Kindleストアにて発売中!

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム『英雄伝説 閃の軌跡』
脚本：恵都まお
漫画：さがら梨々
第27話
旧校舎の
扉のように
赤くはないが…
この模様は
同じにしか
見えないな…
…開く様子は
ないようだな
ああ まるで
壁と一体化してる
みたいだ
だけど
どうして
こんな
場所に…
あの旧校舎と
何か関係が
あるのかも
しれんな
ここは大帝と
親交があった
聖女サンドロット
ゆかりの地…
子供たちは
ここでも
なさそうですね
旧校舎がドライケルス大帝に
関係しているのかもしれないと
推測したことはあったが…
確かに何かしらの
因縁があるかも
しれぬな
ふむ…
先へ進むと
しよう

あと見てないのはこの最上階の部屋だな
なんだ?あれは…
カッ
カッ
ずいぶん巨大な宝珠だが…
明らかに〝何かの力〟みたいなものが感じられる
最上階から不思議な力の奔流を感じていましたが…
恐らくあの宝珠がこの城に異変を引き起こしているんだと思います
あれを破壊できればこの異変も収まるはず……
はいはい
わかったボクに任せて!
こんなのガーちゃんの一撃だよ!
だっ
阿呆!もう少し慎重に…!
結界張られてた…
ジーン
だ…大丈夫か…?
待て 何か様子がおかしい……!
あ あれは…!?

ドドクロの魔物…!?
《不死の王》
ノスフェラトゥ
こんなものまで顕現するなんて…！

くっ…ARCUS駆動…！
ポウ
ゲイルスティング!!
鉄砕刃!!
いっくよ！ガーちゃん!!

ギガントブレイク!!
ロードアルベリオン!!

ややったのか…!?
気を抜くな！何か妙だ!!
え……!?
ひやああ!?
しまった…!!
動け…ない…!?
迂闊でした…！まだこんな力が残っていたなんて…!
ぐっ…
こうなったら…

駄目ですっ…！下手をしたら…
〝あれ〟にあなたまで取り込まれます…！
!!
い…
一体 何のこと——
キィィィィィィィ
!?

パキィィィーン
!!?

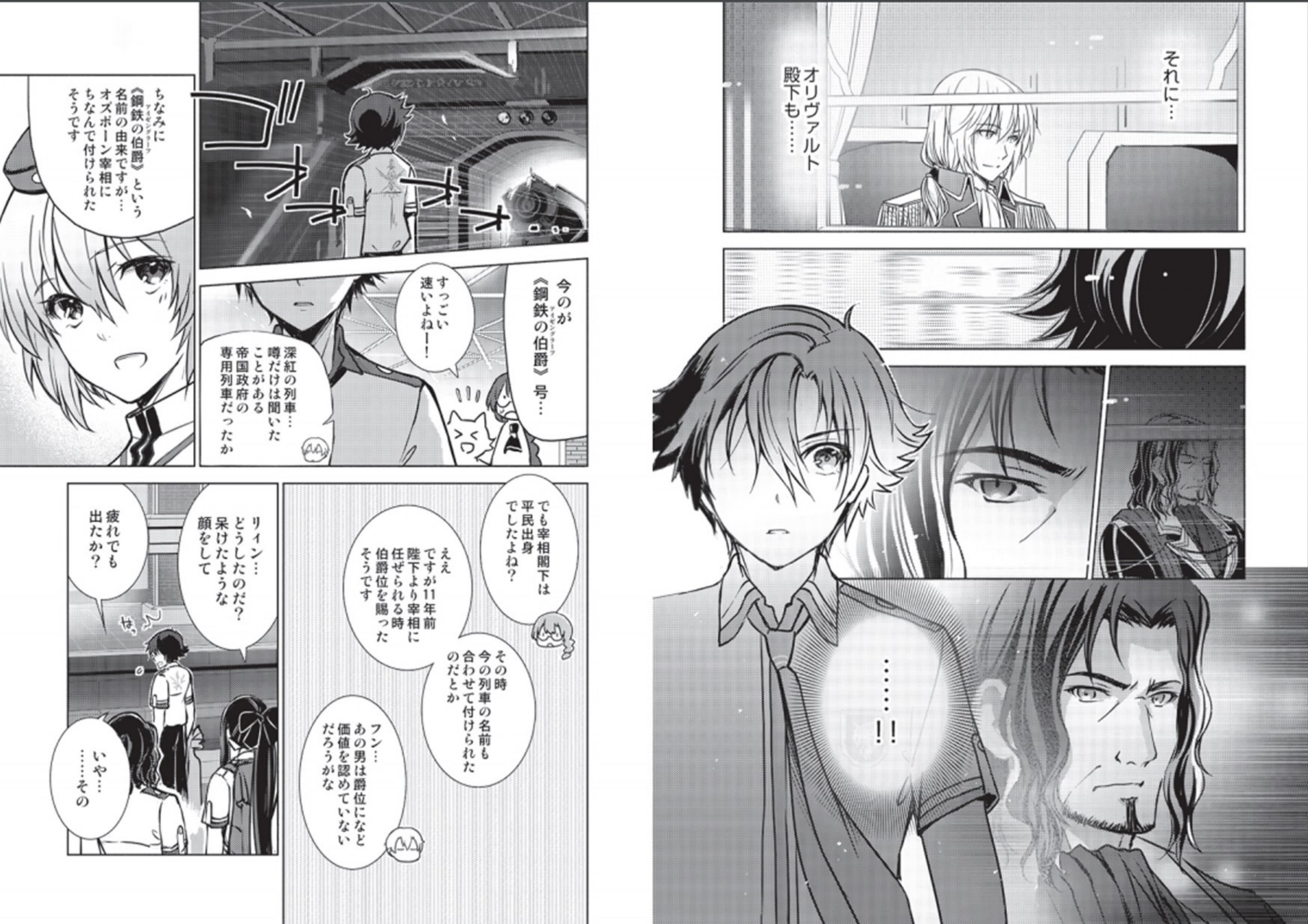
オオオオオ……
サラ・・
う…
一体…何が起こった…？
フラ・・
眩しくてよく…
スゥ・・

何かが飛来するような音が聞こえて…
ああ…そして宝珠(オーブ)を貫いた…
あれはたぶん〝槍〟だ
巨大な《馬上槍(ランス)》
《馬上槍》…だと？
そうだ…さっきまであそこに誰かが立っていた…！
不思議な光に包まれた黄金の髪の女性が…！
そ それって…!?
くっ…！
ラ ラウラさん!?

城を包んでいた青白い霊気は消え失せてますね
ヒュオオオ
誰もいないな…
あの宝珠が砕けたからだよね？
でも…だったらあの《槍》は…？
槍の……
聖女……
……
〝あの女〟かと思ったけど《鋼の聖女》の方だったか
でも…――やっぱり時間が無くなってきたわね…
次の日 朝――
初めての実習だったけどなかなか楽しかったな――！
2日っていうのはちょっと短かったけど
これから続けて次の実習地に向かうのだからあまり気は抜けないかな
レグラムともしばしの別れか…
不思議なお城でしたよね…
なんだか昨夜の出来事全てが夢だったような気さえします
お前がそれを言うのか…
にこ…

よし――それじゃあ 改めて今日からの 日程を確認しよう
この後 ケルディック駅で B班と合流……
大陸横断鉄道を 使って 国境にある 《ガレリア要塞》を 目指す
《ガレリア要塞》……
帝国正規軍の 一大拠点にして 東の脅威に備える 巨大な防壁か
馬鹿馬鹿しいほど 巨大で大仰な 要塞らしいな
かの《列車砲》が 2門格納され 演習場も併設して いるという
《列車砲》… グエン老が 悔いていた兵器か
ああ 東の 共和国方面…
正確には緩衝地帯である 《クロスベル自治州》を 射程に入れた 化け物じみた大きさの 導力砲らしい
ボクもオジサンに 案内されてクレアや レクターと一緒に 見たことあるけど
まさに鉄の カタマリって感じで 圧倒されちゃった な～
そういえば…
ちょうど 今日から だったな
あの男が オリヴァルト殿下と クロスベル自治州に 向かうのは
《西ゼムリア 通商会議》か
いいな～ クロスベル！
何とかっていう劇団と テーマパークが すごいんでしょ？
そうらしいな… それとトワ会長が 勉強も兼ねて 随行団に参加 するそうだ
へぇ… すごいですね トワ会長
ケルディック駅
ゴオオ…
ザワ ザワ ザワ
ケルディックで 降りる方々は こちらの連絡橋 からどうぞ！
1番ホームに 張られたロープには 近寄らないよう お願いします！
なんだか 物々しいな
ワイ ワイ ワイ
どうやら鉄道憲兵隊が 警備をしているみたい ですけど…

間もなく《アイゼングラーフ》が通るので警備体制を敷いているんです
ガヅ
あ…！
クレア大尉…！
奇遇ですね皆さん
あークレアだー!?
ひさしぶりー!!
《アイゼングラーフ》…“鋼鉄の伯爵”…ですか？
ふふ すぐにわかります
まもなく1番ホームを特別急行列車が通過いたします
かなりのスピードですのでくれぐれもご注意ください
特別急行列車…
定刻通りですね
ゴオオ
ゴオオオオオ…
オ
……
あ……
あれは…
トワ会長だ……


それに…
オリヴァルト殿下も……
……!!
ゴォォォォ
今のが《鋼鉄の伯爵(アイゼングラーフ)》号…
すっごい速いよね―!
深紅の列車…噂だけは聞いたことがある帝国政府の専用列車だったか
ちなみに《鋼鉄の伯爵(アイゼングラーフ)》という名前の由来ですが…オズボーン宰相にちなんで付けられたそうです
でも宰相閣下は平民出身でしたよね?
ええ ですが11年前陛下より宰相に任ぜられる時伯爵位を賜ったそうです
その時今の列車の名前も合わせて付けられたのだとか
フン…あの男は爵位になど価値を認めていないだろうがな
リィン…どうしたのだ?呆けたような顔をして
疲れでも出たか?
はっ
いや……その

そこでの税収は貴族ではなく帝国政府に直接入ってくる……
フン 革新派が力を入れるのもわかるというものだ
まあそれはともかく
クロスベルで通商会議が始まるタイミングというのは気になるわね
例の《帝国解放戦線》があれ以来 静かなのも気になるし…
ゴトン
次はガレリア要塞 ガレリア要塞——
5分ほどの停車となりますが関係者以外の降車は認められておりませんので ご注意ください
なお ガレリア要塞内を導力カメラなどで撮影することは帝国法で固く禁じられています
カメラの没収および取り調べの対象になる可能性がありますのでくれぐれも——
随分と居丈高ね
ゴトン…
ゴオオ…
な……

ゴオオオオオオ…
なんだアレは…
東部国境 ガレリア要塞
……
ゴトン
…正気か…？
これが全て鉄とコンクリートで出来ているのか…
ど どれだけミラをつぎ込んでいるのよ…
ゴトン…

★ガレリア要塞でⅦ組を待ち受けるものは…？

ガレリア要塞併設　軍事演習場
これより第四機甲師団第五機甲師団による合同軍事演習が行われる
〝実戦〟を想定した機甲師団の総合演習だ
軍事演習の見学……!
えっだ第四機甲師団って……!?
ナイトハルトご苦労
お目にかかれて光栄ですクレイグ中将閣下
本日は士官学院のカリキュラムに協力していただき感謝いたします
なに 将来我が軍に来るやもしれぬ若者たちだ それにヴァンダイク元帥にはお世話になっているからな
あれが猛将と名高い《紅毛のクレイグ》…
エリオットのお父さんか…
何という眼力…
全然似てないね
ん?
よ〜く来たなぁエリオット〜〜!!
がばぁっ
うわぁ!?
半年ぶりか〜元気だったか!?
なかなかカッコイイ制服じゃないか!
ぐりぐり
むむ? まだまだ筋骨隆々には程遠いな…
天使のようなエリオットにこのままでいて欲しくもあるが…
先月もこんな光景を見たような…
……
ちょちょっと父さん…!
もう! フィオナ姉さんに言いつけるよ!?
む…コホン
──時間だな
はい
帝国軍第四機甲師団司令オーラフ・クレイグ中将だ
本日の合同軍事演習の総指揮を任されている以後 見知りおき願おう
よ…よろしくお願いします…
ではこれより本日の合同演習を開始する!
帝国と帝国軍に栄光あれ!
──それでは始め!

兵員食堂
こ、これは…
塩辛いコンビーフ…味気ない豆スープ…
この黒パン固すぎないか…？
ふむ…
ゼンダー門の食堂は悪くない味だったが…
俺はトワたちと去年も来たけど
軍の食事は基本的に備蓄がしやすいものが使われるそうだ
いざ戦争が起きた時にも必ず供することができるように…だとさ
いざという時士気が下がらぬよう普段から粗食にしているというわけか…
ぼ…僕も以前父さんに連れてきてもらったことあるけど
はぁ…
今日の夜は確か週に一度のハヤシライスだから！
それはおいしいから!!
それにしても先ほどの演習は…
士官学院で教わっているものを全て否定された気分だな…
教養 学力 武術…実際の戦争にそんなものは何の役にも立たないんですね
重要なのは純粋な兵力と最新兵器と総合的な火力…それらを活かせる戦術と戦略か
《アハツェン》にしても想像以上だったわ
正直…あのような兵器が主役の戦場で剣が活かせるとは思えぬな…
今日 演習場で見たのは混じりけのない〝力〟だろう
理念も理想も関係なく──振るわれたら単純に結果だけをもたらすような〝力〟…
いや～なかなか盛り上がってるみたいね
サラ教官

クロスベルの通商会議の情報を仕入れてきたわ それと…
《帝国解放戦線》の最新情報もね
講義室
《帝国解放戦線》がクロスベル方面に…!?
カツ
ええ 少なくとも情報局はそう判断してるみたいね
カツ
カツ
カツ
どうやら共和国の方でも別のテロ組織が潜入してるらしくてかなり混乱した状況みたいね
そんな…
何か対策は…!?
当然 取られている
だがこの件に関しては完全に情報局の仕切りでな『信頼できる協力者がいる』としか正規軍にも伝えられていないのだ
信頼できる協力者…
問題はテロリスト――《帝国解放戦線》というのがかなりの規模だったってこと
少なくとも最新型の軍用飛行艇を保有しているわ
これで いつどこに現れても不思議ではなくなってしまった
心配ですね 皇子殿下にトワ会長も…
んー オジサンとレクターもいるし大丈夫だと思うんだけどなぁ
そういえば…テロリストメンバーの素性もようやく見えてきたそうだが?
ええ…
パッ
まず 幹部《G》
ピッ
ギデオン…!
ザワッ
《帝国学術院》の元助教授 本名 ミヒャエル・ギデオン
3年前 オズボーン宰相の強硬的な路線を激しく批判して学術院から罷免されているわ

そして元猟兵と推測される《V》
…《S》も大体絞り込めてる
どちらにしろ宰相に恨みを持っている者の可能性が高いわね
ただし《C》に関しては今のところほとんどわかっていないわ
《C》……
偶然とはいえ君たちは2回も彼らの企みを阻止している
それと明日《列車砲》の見学許可が降りたわ
列車砲…！
恨みを買ってないとも限らないからくれぐれも気をつけておきなさい
…今日の実習はここまで
帝国の士官学院に在籍する以上君たちは知る必要がある――
帝国が現時点で持ち自分たちが将来扱うかもしれない〝力の大きさ〟についてをね

特別実習最終日
ぞろ
ぞろ
ぞろ
それでは今からお前たちを《列車砲》の格納エリアへと案内する
軍の機密事項に属するのでくれぐれも他言は無用にな
了解しました
な 何だかドキドキしてきたね
そ そうね…
PRR…
む…失礼
ピッ
ミュラー…？まさかヴァンダール流の…？
ええ ヴァンダール少佐とナイトハルト少佐は帝国軍の若手将校の双璧って呼ばれてるわね
……どうしたミュラー こんなタイミングに――
今はオリヴァルト殿下の護衛で通商会議…クロスベルのはずだけど…
ゼンダー門を守っていたゼクス中将の親族か…
なんだと!?

つい先ほど会議が開かれている超高層ビルを《帝国解放戦線》が襲撃した…!
ザワッ
ええっ!?
幸い何とか撃退してオリヴァルト殿下や宰相も全員無事だったそうだが予断を許さない状況が続いているらしい
ほ 本当に襲ったのか…
愚かな…
さらには〝導力ネット〟を不正に操作して隔壁をコントロールし〝機械の魔獣〟を繰り出してきたそうだ
機械の魔獣…!?
それってリィンたちがレグラムで遭遇した…?
ドドォォ
きゃっ!?
な なに…!?
真下から…?
真下…格納庫か!
な なんだ!?
ドォォッ
ドドバ…
アハツェンが暴走してる…!?
おい!何があった!!
だだっ
ぐったり…
う……
か 勝手に…誰も乗っていないはずの戦車が動き出して…
Cユニットの暴走か…?そんなのありえない…
Cユニット…?
軍事演習の標的に使われる自動操縦ユニットだが…どうして最新鋭の主力戦車に…?
ゆうべCユニットが20台届けられて…全て搭載するようにと導力メールで司令部から命令が…
命令だと…?
司令部にそんな様子はなかったが…
ゴォォォ

ゴオオオオオ
わわっ 二隻も!?
あれは… 帝国解放戦線…!?
別動隊がいやがったのか!?
ドゴオオオ
!!
ババババ
スゥー
オオオ
左翼と右翼を襲撃……
あっちの方角は…
狙いは――列車砲か!!
なっ…!?
まさか《鉄血宰相》のいる通商会議のビルを……
列車砲で狙うというのか!?
ま 万が一直撃したらビルごと吹き飛ぶわ…!
チッ それが狙いかよ!
暴走した《アハツェン》の方はクレイグ中将率いる第四機甲師団が鎮圧に当たるそうだ
もはや事態は特別実習の範疇を越えている…
ええ Ⅶ組は全員待機――
このような暴挙断じて見過ごすわけにはいかぬ…!
って言っても聞きそうにないわね
はい!
連れて行かないというなら勝手に行動させてもらおう!
――わかったわ
ばっ
リィン以下A班 このままあたしについて来なさい
B班はナイトハルト少佐と行動するように

それぞれ二手に分かれて右翼と左翼の列車砲を押さえる！
ばっ
これは実戦だ！くれぐれも気を引き締めるがいい！
はいっ!!
くっ…要塞内が機械仕掛けの魔獣だらけだな…
《人形兵器》…
んー魔獣というより導力駆動の《人形兵器》かな？
急いで！
列車砲まであと少しよ！
だだっ

ガレリア要塞 列車砲――
そう…《G》は逝ってしまったの…
──右翼
《鉄血》に雇われていた猟兵団に皆殺しだなんて
可哀想に……
それでは《S(スカーレット)》より《G(ギデオン)》への手向けを送るとしましょう
罪深き巨砲で《鉄血》を葬り煉獄への同行者とする事で――！
ガコン

《帝国解放戦線》幹部《S》！
──待ちなさい!!
列車砲の起動が早い…!?
まさか狙いも付けずにぶっ放すつもり…!?
や…
やめろおおおおッ!!

……

音だけ…だと…?
そっか 初弾は事故防止のため空砲が入ってるんじゃ…?
そうなのか…!?
その可能性が高いわ! そして一度撃ったら次弾の装填に時間がかかるはず…!
うふふ 来たわね
次が本番よ 次弾の装填まであと10分足らず…
止めることなどできないわ…!

大型人形兵器…!
A班 全力で行くぞ!
おう!!
列車砲 左翼
フン!
歯向かうヤツは八つ裂きだぜ…!

クロスベル自治州
オルキスタワー ——同時刻

クロスベルに来たテロリストたちは皆抑えられたらしいけど…
帝都の方は大丈夫なのかな…

はい…
こちらも
右翼列車砲の
停止を確認
お疲れ様でした
右翼 A班
ああ…
ご苦労だった
やった…!
左翼 B班
ぐっ……
ふふ…
まさかここまで
やるとはね…
やれやれ…本当に
あなたたちとは
縁があるみたい…

ふっ
まあいいわ
これも全ては
《C》の狙い通り…
クロスベルの
作戦に
ついてもな
何…!?
あっ!!
待て…!!
死ぬ気か…!?
ああっ!
飛行艇…!?

——我が名は《C》
《帝国解放戦線》のリーダーを務める者である
フン…
ふふ…
!!
よくぞクロスベルと両面に渡った我らの波状攻撃を凌いだ
だが これで終わりではない
次なる我らの鉄槌…せいぜい楽しみにするがいい——
★高まる《帝国解放戦線》の力…帝国はさらなる混乱へ…!?

第29話
閃の軌跡
9月中旬
トールズ士官学院 会議室
CONFERENCE ROOM
さて…
来月は《学院祭》があるため…
元より実習の予定はありません
今月末の《特別実習》を予定通り実施するか否か——
賛成の方は挙手をお願いします
視聴覚室
Cry for me
君の——
声が聞こえてる
叫んでる——
——僕の名前を

わあああぁあああ
うわああっ
かっこいい!!
結構すごいかも
ふむ…大したものだ
これがクロウたちが去年やったという出し物『演奏会(コンサート)』か
あまり聞いたことのない音楽だが…
すごいな
「ロック」っていうのさ ほんとあの時は盛り上がったな〜
ゲリラライブしたのさ♡
来月の学院祭…僕たちのクラスだけだからな 出し物が決まってないのは…

トワ会長 映像を見せていただきありがとうございます
えへへ 本当は見せるのすっごく恥ずかしかったんだけど…
VII組の皆にはガレリア要塞の件で本当にお世話になったし…
出し物がまだ決まってないならどうかなって…
ふむ…我らでこれができればI組の小歌劇(オペレッタ)や他のクラスにも負けないものになりそうだが…
音楽といえばエリオットだが…こういうステージを俺たちが実現できる見込みはありそうか?
えっと…このクラス結構音楽できる人いたよね…?
僕はピアノも弾けるから演奏担当は大丈夫そうだし
これで曲と歌詞を練ってボーカル担当を割り振れば…
リュート
バイオリン
シタール
うんっ…! ステージの方向性次第だけど十分良いものにできると思う!
俺は2年だから裏方に徹するが…期間限定とはいえVII組の一員…
お前らが勝負に出るっていうなら全面的に力になるぜ!
クロウ…
クロウさん…

……私
あなたのこと
ちょっと誤解して
いたかも
もっと いいかげんな 人かと…
あっ
ステージ衣装も
俺に任せてくれよな!
女子はなるだけ
露出させるからよ♪
…前言撤回
出し物については
何とかなりそうだな
しかし……
今月の
《特別実習》は
どうなるだろうな
!
…フン
先月の実習のことを
考えれば中止になっても
おかしくはない
今 理事会で
その辺の
話し合いが
されてるんで
しょー?
まぁそれに
身内が関わって
いるというのは…
どうにも
落ち着かない
わね
ガレリア要塞の
一件から半月…
《帝国解放戦線》の
ことがあって
鉄道憲兵隊の哨戒を
大幅に強化してる
みたいだね…
奴らの数々の行いから
単なる革命家気取りの
集団ではないことは明らかだ
貴族派が『テロリスト対策』で
領邦軍の軍備増強だけじゃなくて
『猟兵団』を雇ったって噂

革新派や
オズボーン宰相を
狙い撃ちにする
その行動様式から…
《帝国解放戦線》が
貴族と何か関係が
あるのではないか
という噂もあるかな
穏やかじゃないよなぁ
まぁ それは帝国内
だけってわけじゃ
ねーけど
クロスベルも
急に独立宣言
とかするしよ
帝国内外の緊張が
高まる中……
特別実習の実行は
厳しいかもしれないな
え
ボクまだ
一回しか行って
ないよー!
先月の事を
考えると慎重に
行動すべきとは
思うのですが…
それでも
特別実習あっての
VII組(私たち)っていう
感じもあるのよね…
ガチャ
お疲れ様
教官…!
理事会は…
出し物は
決まったかしら?
ええ 無事
終わったわ
ふふ…
君たちの父兄は
どうもスパルタ
みたいねぇ
全会一致で
《特別実習》の
継続が決定したわ

自由行動日
よし 生徒会の依頼も これで片付いたな
カッ
今週は実技テストと 週末には特別実習か…
いつも以上に 忙しくなりそうだ
カッ
それにしても 今日調査した 旧校舎……
最下層らしき6階を 全て調べても 何も起きなかったな
ふむ…それが 調査の結果であれば 今は受け入れるしか あるまいな
調査依頼は これにて終了と しよう…長い間 ご苦労じゃった
旧校舎付近は 当面立ち入り禁止 としておこう
半年間調べてきて これで終わり なのか…?
そうだ
教室に忘れ物 していたな
ガ
チャ

……
クロウ
なんだリィンか 旧校舎の件は 学院長には報告 してきたのか?
あ…ああ
その… どうか したのか…?
ん…? いやちょっとした おセンチ気分て やつさ

ガタッ
いい夕焼けだな…秋もだいぶ近づいてきたな
そうだな…もう少し夏を満喫したかったが…
なあクロウ
俺と…ブレードをしないか?
…いきなりどうしたよ?

クロウが悩んでるような…そんな気がしたから
気晴らしにしかならないかもしれないけど…
もしつらいことや苦しいことがあったら「先輩だから」なんて強がらないで何でも相談してほしい
ひとりのクラスメイト…
いや
ひとりの友人として
…!
お前…

言ったな？
へ？
いや～助かるぜ！実はちょうど金欠でよ！
そうだな まずは100ミラから…〝ブレード〟の賭け勝負といくぜ！
がしっ
ええええええ!!?
だーー
負けたっ!!
バラ
こうなったらかけ金を倍にして…
ブツ
ブツ
誰が受けるか！っていうか騙したなクロウ！
フフフ…
いつもと違う雰囲気でお人好しなカモを誘う…見事にかかったな
まぁまぁせっかくだしもう一戦やろうぜ
心配した俺がバカだった…
賭けは無しでいいからよ

あぁ…そうだな
それから実技試験を終え…
ゴーオォォォォォ
号外！号外だよ～！
俺たちは特別実習の初日を迎えた
エレボニアとリベールが共同開発した巡洋艦の処女飛行！
その名も……

士官学院 グラウンド
ゴオオ
華麗なる《カレイジャス》号！
わああっ…！
こ これは…！？
あ…あそこに乗ってるのは……！？
ようこそ《Ⅶ組》の諸君！
アルセイユⅡ番艦——
高速巡洋艦《カレイジャス》へ！

うわあい
ゴオオ
すっごーい！
おおきーい！
ねーユーシス学院がもうあんなに小さいよ！
ぐっ…はしゃぐな！
驚いたな…なんで今回の実習は駅じゃなくグラウンドに集合なのかと思ったら…
こんな最新鋭の船で実習地まで送ってくださるとは…
ペラ
ペラ
ペラ
ZCF製の高性能エンジンを20器搭載したことによって最高時速3000CE/hを実現——
3600CE/hの《アルセイユ》には及ばないものの 高い装甲性能と迎撃能力を誇っていますわね
にこ…。
まさかここまでの開発にRFが関わっていたなんて…
それもZCFとエプスタイン財団との共同開発ですって…？
シャロン…行先きがルーレとはいえちゃっかり付いてきてるし…

《アルセイユ号》…オリヴァルト皇子がリベールから帝都に凱旋した時乗っていたという船のことか
《リベールの白き翼》ですね
こっちは紅くてカッコイイかも
ハッハッハッ 反応は上々のようだね
うんうん これなら帝都市民へのお披露目も成功間違いなしだろう
オリヴァルト殿下…!
ありがとうございます こんな素晴らしい船で送っていただけるなんて…
君たちを送るのはあくまでお披露目の処女飛行のついでではあったんだが…
これだけ喜んでくれるとなぁ～
このまま空中リサイタルなんてどうかなミュラーくん♥
イラッ
たわけが…
あの そちらの方は…
第七機甲師団に所属するミュラー・ヴァンダールだ
もしかして皇子殿下の護衛を務めているヴァンダール家の…?
《光の剣匠》のご息女と八葉一刀流の使い手だったか
同じ剣の道を志す者として こうして出会えて嬉しく思う
先日は皇子共々世話になってしまったようだ
改めて礼を言わせてもらおう
きょ恐縮です!
ヴァンダール家の方とお目にかかれて光栄です…!
ちら
それにしても驚きました…
まさか父上がいらっしゃるとは…
軍属でもない父上がどうしてこの艦の艦長を!?
フフ 驚かせてすまなかった 色々と機密事項もあってな

それと…
この艦はいかなる軍にも所属してはいない
！
という事は…〝皇族の船〟…？
その通り 帝国軍にも領邦軍にも属さない第三の風をもたらすための翼…
それを駆っていただく大任を子爵閣下にお願いした次第でね
第三の翼…

《光の剣匠》が艦長を務める帝国最速の速さを誇る翼か…
ハハ〝牽制役〟としては最強と言えるかもなぁ
ちなみに俺も情報収集として参加させてもらっていてね
トヴァル殿！
地上に残っているギルド方面との連絡も受け持っているんだ
ま こういった役目はトヴァル向きではあるわよね～
あたしだとどうしても切った張ったがメインに…
このまま帝国全土を回られるおつもりですか？
うむ 帝国各地の緊張を少しでも和らげられるようにな
そして──

《帝国解放戦線》とやらにも睨みを利かせたいと思っている
あ…！
確かに…飛行艇も使ってたし…
情報局や鉄道憲兵隊も動いていると聞いていますが…
この艦ならそれとも違う形で彼らの動きを牽制できそうですね
フッ 一石二鳥どころか三鳥四鳥といった感じだろう
この艦ならば実習地までさほどかからぬ
艦内を見学しつつくつろいでいくといい
はい…！
ありがとうございます…！

ゴ
……
ハハ あれから2年近くか
あの放蕩息子まさかここまで漕ぎ付けてくるとはなァ

★第三の翼が飛び立つ時 世界はどう変わるのか——!?

は～…
すっげえ
母ちゃんだなぁ
軍隊の女将校みたい
もう…だから戻って来たくなかったのよ
私のことはともかく士官学院の理事のくせに私たちには全然無関心で…
ま まあまあお忙しいんだから仕方ないよ
それにしてもルーレ… 前に来た時よりも大きくなっているような…
人口20万… ちょっとした小国の首都並みだったか
ノルティア州は確かアンゼリカ先輩… ログナー侯爵家に管理されているんだよね
鉄鋼と重工業によって発展してきた工業都市か… このRFビルもとんでもないでかさだしな
上がアリサのおうちになってるんでしょ? その辺の貴族よりお嬢様ってカンジ
もー からかわないで!
そ それよりB班がちょっと気がかりよね
海都オルディス… 貴族派のリーダー的存在 カイエン公の本拠地か
そんな所にあのミリアムが行って大丈夫なのか?
うーん…
B班
海都 オルディス
ルーレ市街
ワイ ワイ
来月は学院祭で特別実習はない
——だが 俺たちが思っていた以上にルーレの抱える問題は深刻だった……
ん…? あれは…?
ワイ ワイ
国情含め今回の実習はこれまでの〝統括〟と言える 慎重に行こう
ルーレ市の治安維持は我々ノルティア領邦軍の役割だ!
ざっ
貴公ら余所者がこれ以上大きな顔をしないでもらおうか!
我々は正規の手続きを踏んで任務を遂行している!
鉄道網が発達し広域的な治安維持を行えるのは我々《鉄道憲兵隊》だけだろう!

市民の諸君!
謎のテロリスト共が跋扈する今 真の意味でルーレを守れるのは我々《ノルティア領邦軍》だけである!
こやつらは所詮地に足を付けぬ余所者! あまり信用せぬ方がよかろう!
ざわっ
鉄道憲兵隊に領邦軍…!?
街中に装甲車まで…!?
仰るとおりです
訂正しておきますが 我々は“地に足を付けぬ余所者”では決してありません
《氷の乙女(アイスメイデン)》…!
クレア大尉…!
《鉄道網》という帝国全土をカバーする大動脈を通じていかなる地にも速やかに部隊を派遣…
必要とあらば全部隊を数時間以内に集結することができます
それが鉄道憲兵隊の誇りであり矜持でもあります
クレア大尉…すごいタイミングだな
へ〜いい女じゃん♪
そちらはそちらで我々は我々で役割分担をすれば良いだけの事…
そうではありませんか?
ならば複数の場所で何かあったらどうするつもりかな?
くっ…
!

こ これはルーファス様！
もうお帰りでしたか！
初めましてクレア・リーヴェルト大尉
どうやら私が何故ルーレに来ているのか——
いや どうやってルーレに来たのかが不思議なようだな？
！……
あらゆる鉄道網は君たちの監視下にある
かといってルーレ空港に私が訪れた気配もない
答えは簡単——アルバレア家の専用飛行艇で来ただけさ
停泊させたのは街道外れだがね
あ…
死角というものはあらゆる所に存在するもの
君たちも あまり自分たちの優位性を過信せぬことだ
…ご忠告ありがたく頂戴いたします

——撤収！
装甲車も下げろ！
ざっ
わっ
ルーファスさん…！
ルーレにいらしていたんですか…！
たたっ
父の代理で侯爵閣下と話をしに来ていたのだが
…フフ 奇遇だな
はっ はい！
色々話されたみたいですね
私としても 君たちの学院祭の出し物は見たいからね
難しい時期だからね 何が起きてもおかしくない状況だ
残りの3日間せいぜい大人しく《実習活動》に徹するといいだろう
…ではこれで
カツ
カツ
っ……

はぁぁ…緊張したぁー！
ありゃあユーシス坊やとは格が違うな
すごいオーラだったかも
……そろそろ日も暮れるし実習を報告して今日は切り上げましょう
このルーレで何が起きているのか…母様なら知ってるかもしれないわ
RFビル最上階
ラインフォルト家　ペントハウス
は…？
母様が夕食に来れなくなった…？
夕食の後 俺たちは早々に本日分のレポートをまとめた
だが アリサの母 イリーナ会長の突然の夕食のキャンセル…
領邦軍と鉄道憲兵隊の対立 そしてルーファスさんの動き 何かが動いているのを感じながらも それ以上のことは見当が付かなかった

…さて レポートはこんなところかしら
ガた…
あとは自由時間ね
家の中 好きに見てもらってもいいわよ
図書室もあるし
よし 俺たちはステージの打ち合わせを詰めるか！
そうだね！
アリサ…

凄いな この夜景は
ガチャ
リィン…！
子供の頃から こんな光景を ずっと目にして きたのか
……ええ そうね この夜景はいつも家族で 見ていたものだわ
でも お祖父様は 街から出てしまって… 今は私も シャロンも 居なくなって母様が 一人きりで暮らしている…
そう考えると何だか 切なくなってしまったの… どうしてそこまでって…

そっか…やっぱり お母さんのことを 怒っているわけじゃ ないんだな
…腹が 立ったのは 確かだけど
でも私だったら 耐えられない… 家族も 大切な人も
誰もいない状況で 仕事にだけ没頭して 生きて行くなんて…
――アリサは いい子だな
なで
っ……!!?
ぼっ
なっ…なによ いきなりっ…?
よろ…
いつもいつも そうやって人の事を 気にかけている だろう?
たとえ相手に 怒っていても 思いやらずには いられない…

最初の頃の俺に対しても
ど どうして謝るの!?
どうして謝るんだ?
ふう…気付いてたんだ
その…お互い避けあってるような気がするんです
ラウラやフィーの時も
妹のことだって俺をちゃんと嗜めてくれたしな
ミリアムのことだって何気に気を配ってくれてるし…
皆感謝してると思う
——たぶん俺が一番だろうけど
今ルーレで起きている水面下の動きは確かに心配だ
イリーナさんも関係している可能性が高いんだろう
だから…
俺たちⅦ組としても動きを探ってみないか?
!

依頼を片付けながらでいい俺たちで出来る範囲内でさ
皆も気にかけている事だし…
リィン…
——わかった
ああ 頼むよ
私の方で早速ルーレにいる知り合いに心当たりがないか聞いてみるわ
——コホン ひとつ忠告
?
あんな風に女の子の頭を軽々しく撫でるもんじゃないわ
貴族とか平民に関係なく帝国男子としてどうかと思うわよ…?
そ そうか…? 妹によくやっていたからつい…
アリサ…少しは調子取り戻してくれればいいんだけどな
そうださっき通信であの人から呼び出されていたんだ
スッ
そろそろ時間だな…

そうか ゼリカは 外出中か
いや 今 アリサんち なんだけどよ～ ちょいと気になる ことがあってな
ジョルジュ お前の方から トワに話してみて くれねえか？
……ん？
同時刻 ルーレ市北部
──時は来た
それでは 第三の花火を 上げるとしよう
うふふ 了解よ《C》
明日は俺たちによって 真の意味での "正念場"になる！

特別実習2日目 朝──
《鉄血》の首を獲る 最後にして最大の 下ごしらえ…… 皆 全力を 尽くしましょう！
ばっ
おう!!
さて シャロンさんから 預かった今日の 依頼は…
その・前・に
昨日 こっそり外に 出て何をしていたのか 話してもらいましょうか？
え…!?
あっ… そ それは…
ゴゴゴゴゴゴ
クレア大尉にARCUSで 呼び出されて真夜中デート
はぁぁぁあ!!?
き 君はゆうべ そんなことを…？
ち 違うだろ フィー！
いや 皆には 今日ちゃんと 話すつもり だったよ！
ゆうべ遅かったし！

実は——
鉄道憲兵隊がラインフォルト第Ⅰ製作所に強制査察!?
ああ 今 検討中とのことだ
大尉はその件を伝えるために俺を呼び出したんだよ
だから昨日の小競り合いが起きたのね…
えっとどういうこと…?
RFグループは各部門貴族派・革新派に分かれているのよ
【ラインフォルトグループ構成図】
第一製作所
鉄鋼／大型機械全般
貴族派
第二製作所
銃器／戦車／兵器全般
革新派
第三製作所
導力列車／導力飛行船
中立派
第四製作所
導力通信技術／戦術導力器
会長直轄
特に第Ⅰ製作所と第Ⅱ製作所はお互い熾烈な競争をしていたの
でも だからといって軍の査察が入るような事まで第Ⅰ製作所がしていたなんて…
貴族派が占めている第Ⅰ製作所に睨みをきかせている鉄道憲兵隊を
領邦軍が露骨に牽制するのは道理というわけか…
それにしても鉄道憲兵隊の活動は領邦軍にケンカを売っているとしか思えないがな…
地方の治安維持は元々領邦軍の役割だったはずです
かってにあとを尾けてきた
あなた方は——いえオズボーン宰相は一体何をしようとしているんですか?
今の帝国に必要なのはより広い治安維持のネットワークの構築…
それが出来るのは鉄道憲兵隊や情報局だけです
そして世間からどう囁かれようが閣下は——オズボーン宰相はある意味 誠実に行動なさっています
どこかの誰かたちのようにテロリストを支援するなどという一線を越えたことはなさらない
!……
“危機”の輪郭を見極め できれば近寄らないでください

それが今回《Ⅶ組》の皆さんが実習で学ぶべき経験でしょう…
……
どこかの誰かたち…
それって…
テロリストの背後には《貴族派》がいる…ということだ
!!
少なくとも四大名門の筆頭《カイエン公》が背後にいるのは間違いないらしい
カイエン公が…！
……
大尉の情報で大まかな状況は整理できたが…
そんな危うい状況だなんて…
見て見ぬふりなんてできないわ…
グ
こうなったらこっちはこっちで独自に色々と調べてやりましょう！
状況を打開する情報を手に入れて母様に恩を着せてやるためにも！
ふふっその意気だよ
まあ…これも実習活動の範疇だろう
やれやれ若いねぇ

よし Ⅶ組A班 2日目の実習活動開始だ
その間に第製作所や他の部門の情報を関係者や市民たちから集めよう！
ええ！
ドドオオオ
!?
こ、この音は!?
もしかして軍需工場から!?
火事か何かか…!?
煙…！

大丈夫ですか!?
ゴオオオ
うぅ…
一体何が…
俺たちで避難を誘導しよう!
だだっ
あれは…!
あ……
ガシャリ
人形兵器…!?

無事ですか皆さん!
たたっ
クレア大尉…!
どなたも大事に至っていないようですね
皆さんのおかげでそこまで大きな被害も出さずに済みました
いえそんな…
でも…やっぱりこれってテロリストの仕業なのかしら
可能性は高そうだな
そだね…テロリスト自体がここにいない理由がわからないけど
確かにちょっと目的が掴めない感じだな
だったらさっき倒した人形兵器は一体どこから来たんだ?
どうやらいくつかのコンテナに収納されて搬入されたようです
ええ 私たちも調べましたが…
——3ヶ月以上も前に
さ 3ヶ月以上前…!?

そして《帝国解放戦線》が帝都で名乗りを上げる1ヶ月ほど前でもあります
そ…そんな前から今回の事件を計画していたってことですか？
ええ…恐ろしく切れる相手のようです
テロリストのリーダー格――《C》と呼ばれる仮面の男
恐らく彼の仕掛けではないかと
《C》…それって
お前らが帝都で戦ったっていうヤツか
ああ…相当な使い手だった
やれやれ 頭まで切れるとはつくづく化け物じみてるな

とにかく残されていた人々も無事でよかったです
そうですね…あくまで結論ですが
たまたま人形兵器を倒せたのは幸いでしたが私たちの到着を待たずに現場に踏み込んだのはいただけませんね
え…
機密的な問題もありますし二次被害の可能性も十分理解していたはずです
“危機”の輪郭を見極めできれば近寄らないこと――そう忠告したはずですが？
やれやれ手厳しい姉ちゃんだなぁ
……
それでも……危険から目を逸らし続けることはできません
そこに“力”がある以上…
どう付き合うか考える必要があ…るそうじゃありませんか？

★予期せぬテロリストの襲来、波乱の予感……!